

# 『伊能忠敬研究』 第100号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。  
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり  
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》  
 [ ] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
100号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇二三年 第一〇〇号 史料と伊能図 特集号	伊能忠敬研究会	100-1	20230630
		2	表紙解説 国立国会図書館蔵 伊能大図第100号 甲斐 駿河 (富士山)	菱山 剛秀	100-0	
		3	目次		100-0	
	祝辞	4	『伊能忠敬研究』一〇〇号を祝して	香取市長 伊藤 友則	100-1	
	特集 I 『伊能忠敬 研究』100 号に寄せて	5	忠敬を伝ふ百号花菖蒲 惜別 伊能忠敬研究会顧問 伊能陽子さん	伊能 洋 (朝日新聞)	100-2	
		6	伊能家とご縁がありまして 第55号56~58ページを再録	伊能 陽子	100-3	
		7	伊能図を訪ねて	渡辺 貞子	100-4	
		8	『伊能忠敬研究』五〇号を回顧して 特に多くの発表をされている小島一仁、佐久間達夫、安藤 由紀子、伊藤栄子、伊能陽子各氏の功績は大きい 制作面では、二四号までの三二頁時代は、伊能、安藤両氏 が編集の中心だった。二五号からは六四頁に移行し、版下をみ ずから作るようになって、福田氏が作業の中心となった 版下から印刷屋さんをお願いしていると、どうしても高く つく。三二頁でも会費の大部分が、印刷屋にってしまう始末 だった 「ワードで編集できるよ。自分でやっごらん」といわ れ、印刷屋を変えて自分で版下を作ったら、六四頁が三二頁の 半分の予算で出来るようになった しかしながら、版下つくりの作業は大変である。写真な ど、なかなか上手くあがらない。写真、カットの配置も難し い。私は二・三号手伝ったかな、そんな記憶である。あとは福 田氏の出番だった。今日のような立派な会報に仕上がったの は、とにかく福田氏の努力によるところが大きい 五十号「『伊能忠敬研究』五〇号を回顧して」から一部転 載	渡辺 一郎	100-5	
		9	会報100号を祝う 私の担当は2001年27号から2007年49号まで23冊。64頁か72 頁 04年7月28日伊能さんの車で大橋〔地図センター〕へ引 越。会の荷物は電話機と会報残部だけ	福田 弘行	100-6	
		10	50号から60号まで 前任の福田さんから編集長を引き継いで50号から60号ま で、期間で言う2007年から2010年までの3年間、計11冊を担 当しました 編集担当を引き継いで間もなく、安藤由紀子さん、伊能陽 子さんとパレスホテルのロビーで「編集会議」を開きました。 一つだけ変えたことがありました。巻頭に「記念碑巡り〔史跡 探訪〕」のページを置いたことです 当時中学生だった石谷春香さんが一年かけておこなった研 究レポート『伊能忠敬研究』の連載も忘れ難いものでした。会 誌史上、最も若い研究者であり執筆者でした。その実証性に一 同感心、「これは全文載せましょう」という安藤さんの意見で 全12回の連載が始まりました 手書き原稿をワープロ入力、十年ひと昔と言いますが、当 時とは大きく時代が変わったと思います。当時は手書き原稿も 多く、ワープロ入力のみならず大きな仕事でした	前田 幸子	100-7	
		11	『伊能忠敬研究』第一〇〇号に寄せて	鈴木 純子	100-8	
11		『伊能忠敬研究』第一〇〇号に寄せて	鈴木 純子	100-9		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日		
100号	特集Ⅰ 『伊能忠敬研究』100号に寄せて	11	最初の編集委員は渡辺さん、安藤さん、伊能（陽）さん、芳賀啓さんなど9名でした まだ手作業も多かったと思われ、第25号（2001年4月）から、パソコンによる自前の版下作成が始まります 第27号（2001年11月）から第49号までは、福田弘行さん、50号から60号までを前田幸子さんが担当され、事情があつて遅延した第61号を鈴木が、か細い繋ぎとしてとりまとめ、以後、高安克己さんを中心とする総カラー化、第64号からはB5判からA4判への転換と発展し、現在に至ります この時期以降は菱山剛秀さんをはじめ、宮内敏さん、井上辰男さん、河崎倫代さん、玉造功さんなどの尽力により現在に至ります	鈴木 純子	100-9	20230630		
		12	『伊能忠敬研究』一〇〇号を迎えて	星 埜 由 尚	100-10			
		13	伊能忠敬研究会と私	宮内 敏	100-11			
		14	会誌のカラー化・A4化の頃	高安 克己	100-12			
		15	伊能図に導かれて 2011年のある日、入会をお願いしました。このころは、ちょうど、会誌の紙面が一色刷りからフルカラーに変わり、編集体制も変わった直後でした。そうしたタイミングもあって、私は入会とほぼ同時に会誌の編集に携わることになり、気が付けばすでに12年が過ぎていました 引き続き会員諸氏のご協力をお願いして、次の編集担当にバトンを渡したいと思えます	菱山 剛秀	100-13			
		16	会誌発送に携わった四年間の思い出	高宮 勲	100-14			
		17	発送担当、四年間の記録ーコロナ禍の中でー 【88～99号の発送記録】（河崎）	河崎 倫代	100-15			
		18	私の思い出	石川 清一	100-16			
		19	測量士が見た伊能忠敬	井上 辰男	100-17			
		20	私の伊能忠敬研究会	佐賀県 馬場 良平	100-18			
		特集Ⅱ 伊能図の研究	伊能図の世界	21	伊能図とは？ 図1 「大日本沿海輿地全図」一覽図 伊能図の表現 伊能図の種類 最終上呈大図の姿 近代地図への予兆 伊能図はどう使われたか		鈴木 純子	100-19
								100-21
								100-23
								100-24
				22	「全国巡回フロア展」開催状況 全国28か所 合計 延べ112,235人 平均4000人		鈴木 純子	100-26
				23	伊能図研究100年を振り返る 1. 度法について 緯度1度28.2里は、地図作製のための定義値であり、伊能測量の精度を表すものではない 第一次測量はともかく、第二次測量以後は、第二次測量により求めた度法の値を確定し、それに拠って地図を作製したと言える 2. 伊能測量の手法 星測による緯度の決定が、伊能図の基本的な基準 伊能図の精度の高さは、天文観測点を基準として導線法の測量結果を補正したことにより、交会法や横切測線による補正は、あくまで二次的なものであり、局部的なものであった 3. 伊能図の投影法 4. 伊能図の図化手法 5. 伊能図の作成手法に関する再検討		星 埜 由 尚	100-27
								100-28
								100-29
								100-30
100-33								
24	測量次別参加隊員 参加者の経歴 内弟子 第4次測量までは忠敬との個人契約。幕府が正式スポンサーとなった第5次測量以降は手当が支給された	河崎 倫代	100-37					
			100-38					
			100-39					
■江戸府内第一次測量日記	江戸府内第一次測量の記録（九）一文化十二年二月十三日の『日記』一〔1815.03.23〕	25	補遺 「高橋景保の別荘関係書状」	玉造 功	100-40			
		26		玉造 功	100-48			

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
100号	◎曆象編斥妄	27	補遺 「乾隆の十六省図」	玉造 功	100-49	20230630
	■測量隊の足跡をたどる	28	「伊能忠敬測量隊の足跡をたどる」連載第三十三回〔第8次測量(九州第二次 京都～四日市～岐阜～高山) 1814.04.19～1814.06.04 (文化11.02.29～文化11.04.16)〕	監修 渡辺 一郎 編著 井上 辰男	100-50	
	忠敬談話室	29	山口でちょこっと伊能探訪ー戦国大名大内氏繁栄の痕跡を訪ねてー	室山 孝	100-70	
		30	松本清張「老十九年の推歩」を読む (柏木幸七子孫)	柏木 隆雄	100-73	
		31	「伊能忠敬笹山領探索の会」 丹波篠山市から感謝状授与	加賀尾 宏一	100-75	
	各地のニュース	32	伊能測量協力者御子孫宅を訪ねて	佐賀県 馬場 良平	100-77	
	●薩隅見聞之覚書〔文化09壬申年第八次測量(1812)〕	33	南日本放送テレビ番組に協力ー門谷清次郎「薩隅見聞之覚書」の活用ー	室山 孝	100-79	
	忠敬を詠ふ	34	忠敬を詠ふ(四)	東京都 伊能 洋	100-80	
	新刊紹介	35	井口利夫著『伊能忠敬と間宮林蔵のウス測量』 伊達郷土史研究会発行 『伊達の風土』第35～38号(平成28～令和元年)の抜き刷りを合本したもの	菱山 剛秀	100-80	
	会員便り	36	報告【珠洲地震】 出身地の石川県珠洲市狼煙町の私設資料館「能登さいはて資料館」、5月5日の震度6強で被災、休館に	河崎 倫代	100-80	
	山武のスケッチ	37	山武のスケッチ(二) 九十九里浜のイワシ漁	千葉県山武市 江口 俊子〔画も〕	今回は、忠敬さんの生家小関家が網元をしていたイワシ漁にちなんで、天狗屋の庭先で作っていた目刺しを描いてみた	
			忠敬さんの頃は、大部分がメ粕に加工されて全国に出荷され、農業の発展を支える肥料として珍重された			
			「広重 六十余州名所図会 上総矢さしか浦通名九十九里」 九十九里浜の地引き網漁は、船方として5、60名、岡者として約100名の労働者から構成され、主にイワシを捕獲した			
	会員便り	38	新入会員自己紹介		100-82	
北海道 齊藤 文大			100-83			
神奈川県 佐藤 悦子						
埼玉県 雉岡 恵一						
滋賀県 寺澤 真樹						
お知らせ	39	事務局からのお知らせ 二〇二三(令和五)年度 総会報告(富岡八幡宮)		100-84		
奥付	40	投稿要領・研究会入会案内・編集後記(H)	(H)	100-85		
	41	2023年6月30日発行 発行 堀野 正勝 伊能忠敬研究会	編集 菱山 剛秀 発行 堀野 正勝	100-85		